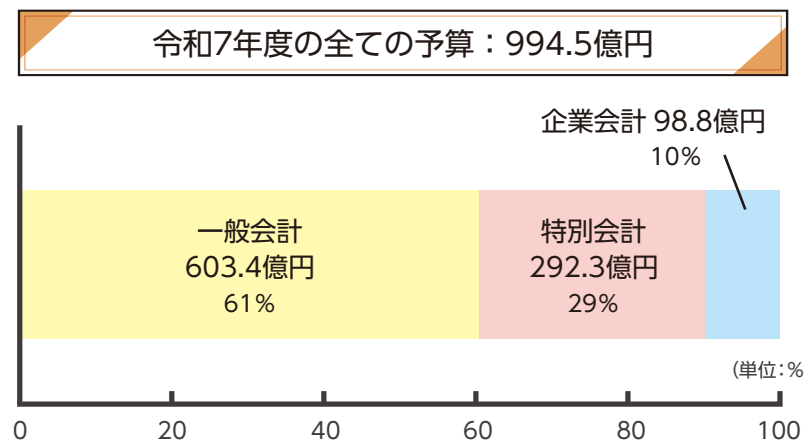




一般会計とは…

市の基本的な仕事(福祉、教育など)を行う予算です。主に市税で賄っています

特別会計とは…

国民健康保険など特定の事業を行うために、一般会計と分けて設けられている独立した予算です(全6会計)

企業会計とは…

自らの収益で運営している上下水道事業のことです

令和7年度

古河市の予算

一般会計 **603.4億円**
(前年度比 10.8%増)

今年度の一般会計当初予算額は603.4億円。前年度と比較して58.9億円(10.8%)の増額となり、過去最大の予算額となりました。予算編成においては「第2次古河市総合計画」の第Ⅲ期基本計画で掲げる「華のある都市古河」の実現に向けて「地域の特性を活かした、仕事をつくる」「移住と定住を促し、新しい人の流れをつくる」「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」「安心な暮らしを守り、魅力的な地域をつくる」「GX・DXの加速、EBPM(証拠に基づく政策立案)による行政経営」に関する取り組みに重点を置いています。限られた財源を有効活用し、市が直面する喫緊の課題に迅速・的確に対応するための予算となっています。

扶助費が過去最大

扶助費は、高齢化の進展や障がい福祉サービス利用の増加、また子育てをしている人たちへの支援拡充により年々増加していることから、昨年度に比べ17.6億円の増加となります。

■扶助費の増加額
R6当初:153.4億円
R7当初:171億円
+17.6億円

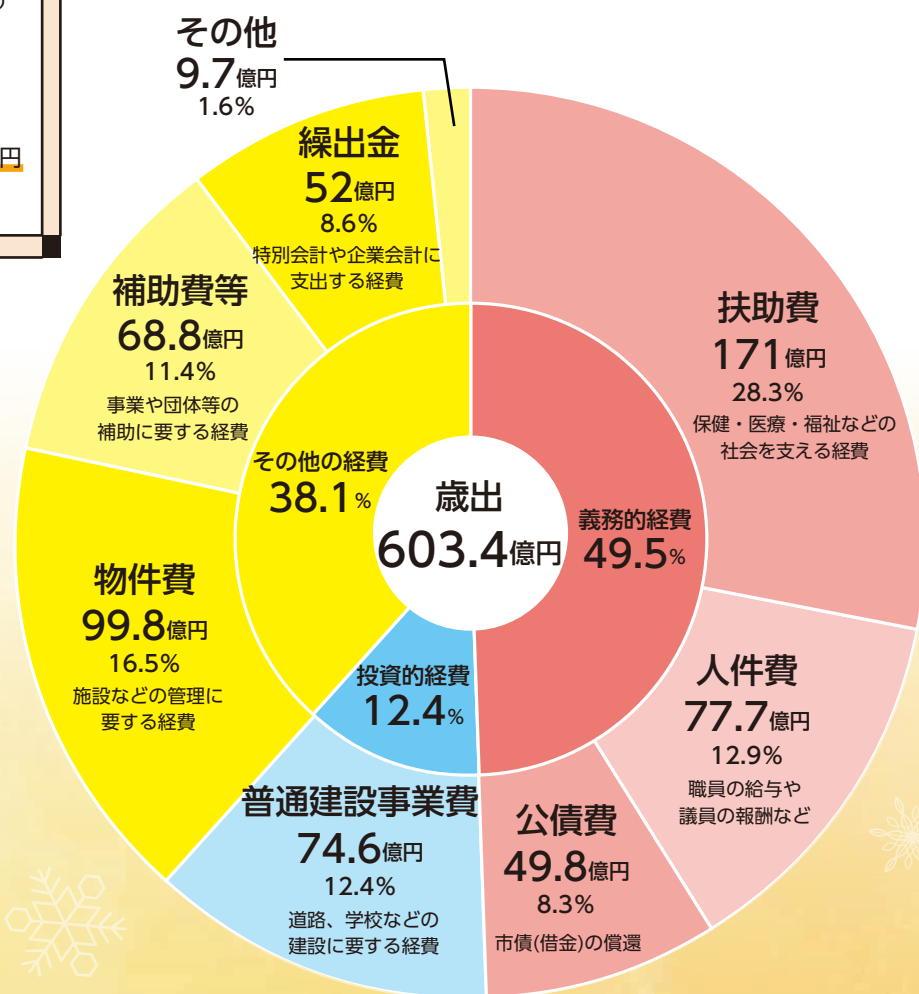


義務的経費と投資的経費とは？

扶助費や人件費など、支出が義務付けられているため簡単に削減できない経費を義務的経費と言い、道路や学校などの建設に要する経費を投資的経費と言います。

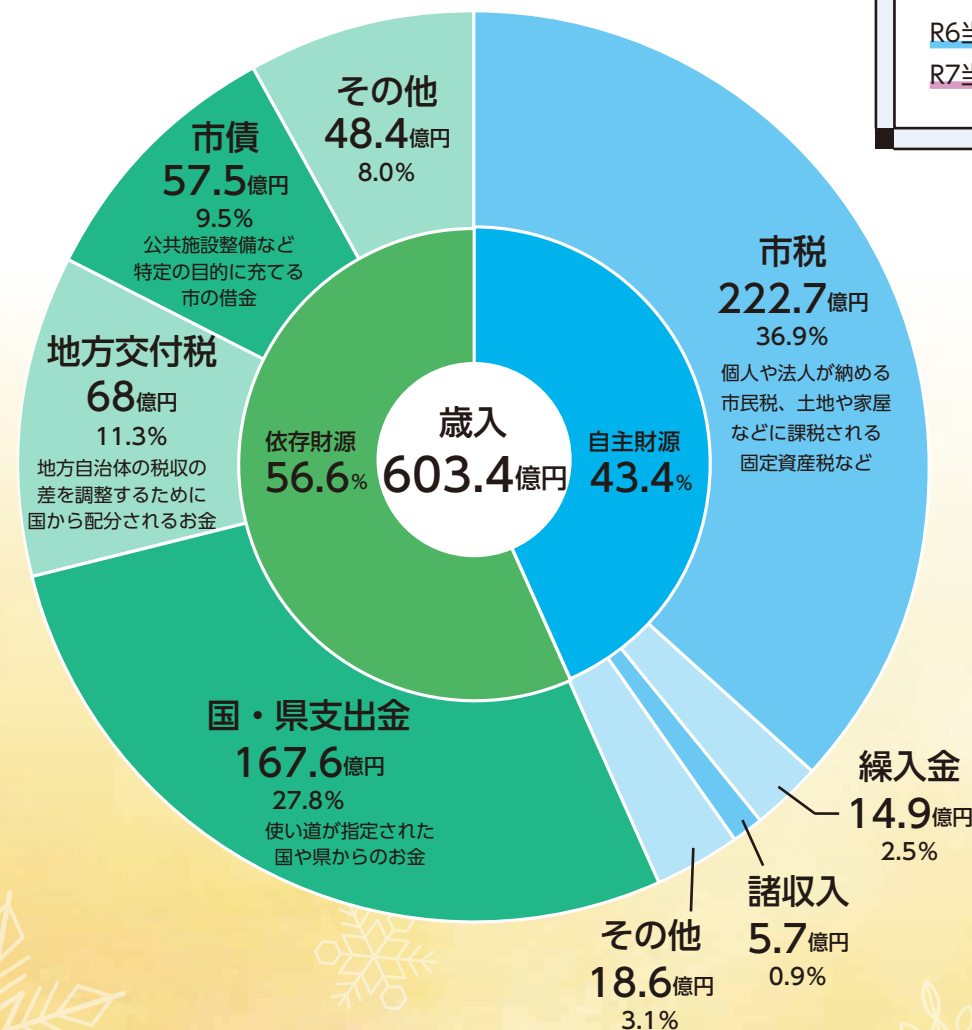
古河市が支払うお金の内訳

一般会計 歳出



古河市に入るお金の内訳

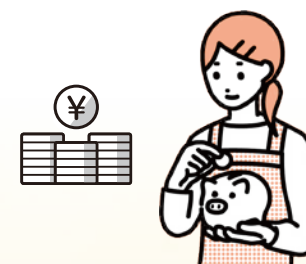
一般会計 歳入



過去最大の税収額

市税は、定額減税の終了や所得の増加などにより個人市民税の増額が見込まれることから、昨年度に比べ13.5億円の増加となります。

■市税の増加額
R6当初:209.2億円
R7当初:222.7億円
+13.5億円



自主財源と依存財源とは？

市が自ら徴収するお金である自主財源に対し、国や県から定められた目的のために交付されるお金を依存財源と言います。自主財源の割合が大きいほど、行政運営がしやすくなります。